

## カリキュラム

|              |                              |
|--------------|------------------------------|
| (B) 生涯キャリア形成 | <b>チーム力の強化と中堅・ベテラン従業員の役割</b> |
| 役割の変化への対応    |                              |

|         |  |
|---------|--|
| コースのねらい | 中堅・ベテラン従業員が求められる今後の役割や能力を確認し、職場の課題に対してこれまでの経験に基づき後輩従業員と共同で解決策を得るための知識と技能を習得する。 |
|---------|--|

|                  | 「基本項目」 | 「主な内容」  | 訓練時間 (H)  |     |
|------------------|--------|---|---|-----|
| 講<br>義<br>内<br>容 | 1      | 職場の課題   | (1) チームの問題や課題<br>・チームを強化するにあたっての問題や課題を、自分と会社に分けて考えます。<br>・上記を通じて、チームで仕事をする意味を考えます。  | 0.5 |
|                  | 2      | 求められる役割と能力  | (1) 変化する求められる役割と能力<br>・時代は高度成長期時代と180度変化。ステークホルダー資本主義とは？ 個人のパワーを解き放つ必要性とは？ 従業員エンゲージメントとは？ ありたい姿とあるべき姿の違いとは？<br><br>(2) 必要な知識と技能<br>・チームの問題や課題を解決するために必要な知識や技能とは？<br>・特に後輩従業員と共同で解決策を得るための知識や技能とは？ | 1.5 |
|                  | 3      | アサーティブの基本   | (1) アサーティブとは<br>・その重要性と必要性。<br>・心理的安全性とは？<br>・あなたのアサーティブ度はどの程度？<br><br>(2) アサーティブなコミュニケーション I<br>・アサーティブに伝える基本練習。<br>・アサーティブにきく基本練習。  | 1.0 |
|                  | 4      | アサーティブな関係構築   | (1) アサーティブなコミュニケーション II<br>・ポジティブなフィードバック練習。<br>・これまでのワークのアウトプットを活用し、実践的練習を行います。<br><br>(2) 職場の関係構築<br>・セクハラとパワハラを混同していませんか？<br>・アンガーマネジメントとは？  | 3.0 |
|                  | 演 習    | 6Hコースでは、知識と技能を習得するために各基本項目には、演習が含まれている。(合計約3時間50分)<br>「1. 職場の課題」では、約20分。<br>「2. 求められる役割と能力」では、約30分。<br>「3. アサーティブの基本」では、約30分。<br>「4. アサーティブな関係構築」では、約2.5時間。 |   |     |
|                  |        |   | 合計時間  | 6.0 |

|  |
|--|
| カリキュラム作成のポイント  |
| 生産性を上げるためには、アサーティブなコミュニケーションが必要だと考えているのだが、日本ではなかなか広がらないのはなぜだろうか？主張することを失礼だと思っていないだろうか。忖度は行き過ぎでも、察することはいいことだと思っていないだろうか。プライベートで察しあうことを止めるつもりはないが、VUCAと言われる時代に、ビジネスシーンで察するのは、ミスを引き起こし発想やイノベーションを抑えてしまうことになる。当コースで、アサーティブなコミュニケーションを学んでいただき、チーム力の強化に活かしていただきたい。 |

|   |
|---|
| 講師から一言  |
| 中堅・ベテラン従業員に求められる役割と能力を理解、コミュニケーションを強化することで、チームの成果を向上させるためのカリキュラムです。 |